



LEICA Q3 LEICA Q3 43 LEICA Q3 MONOCHROM

FIRMWARE UPDATE 4.1.0

改善機能

- バッテリー（型番：BP-SCL4）使用時に起動時に表示された警告メッセージが削除されました。
- 縦向きの画像が全画面表示されるようになりました。
- フォーカスピーキング機能を、フォーカスリングを使ってピント合わせを行う際にのみ使用できるよう新たなメニュー項目が追加されました。
- 選択中のAFモードが、画面上部にアイコンとして追加表示されるようになりました。
- **トラッキング**モード時に、ピントがあっている被写体は緑色で表示され、人または動物が検出されなかった場合は追尾されません。

トラブルシューティング

- Leica FOTOSが**オフ**になっているユーザープロファイルから、Leica FOTOSが**オン**になっているユーザープロファイルに切り替える際にカメラがフリーズしたエラーを修正しました。
- DNGファイルに保存されているカラーマトリックスが更新され、このマトリックスをカラープリセットに使用する他社製ソフトウェア使用時の色再現が改善されました。

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

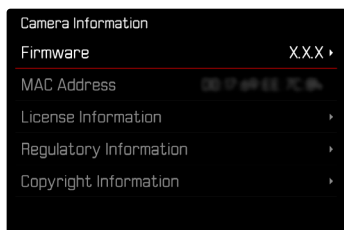
最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- アプリ「Leica FOTOS」から（推奨）
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューでカメラ情報を選択する。
 - メニュー項目「ファームウェア」の隣に、バージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。

専用アプリ「Leica FOTOS」から

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

→ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- アップデートはカメラメニューからもできます。

カメラメニューから

使用前の準備

→ バッテリーを満充電し、カメラに入れる。

→ メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。

- メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。

(注意：データ消失！フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)

→ 最新のファームウェアをダウンロードする。

→ メモリーカードに保存する。

- ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。

→ メモリーカードをカメラに挿入する。

→ カメラの電源を入れる。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。

- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

カメラのファームウェアをアップデートする

- 準備する。
- メインメニューでカメラ情報を選択する。
- ファームウェアを選択する。
- アップデートを開始を選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- はいを選択する。
 - プロファイル情報を SDカードに記録しますか? というメッセージが表示されます。
- はいまたはいいえを選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 処理中はLEDランプが点滅します。
 - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

メモ

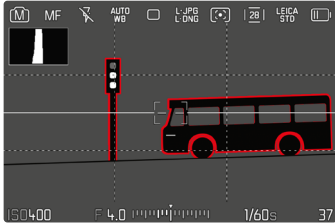
- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- Leica FOTOSからアップデートする場合は自動で設定されます。

MFアシスト機能

マニュアルフォーカス撮影時には、次の補助機能が使用できます。

フォーカスピーキング

この機能をオンにすると、ピントが合っている被写体の輪郭をマークすることができます。表示色を変更できます。また、感度の調整もできます。



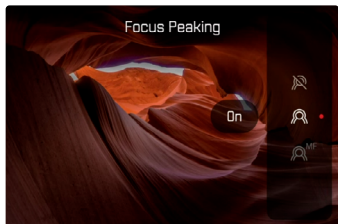
- メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- **設定**を選択する。
- **フォーカスピーキング**を選択する。
- 希望する設定を選択する。
(**オフ**、**レッド**、**グリーン**、**ブルー**、**ホワイト**)
- 構図を決める。
- ピントを合わせたい被写体の縁に色がつくまで、フォーカスリングを回す。

メモ

- ・ フォーカスピーキングは被写体のコントラスト（明暗差）に基づいて行われます。被写体のコントラストが高い場合、輪郭が正しくマークされないことがあります。

マニュアルフォーカス (MF) 設定時にのみフォーカスピーキングを使用する

フォーカスピーキング機能を、フォーカスリングを使ってピント合わせを行う際にのみ設定できるようにしました。



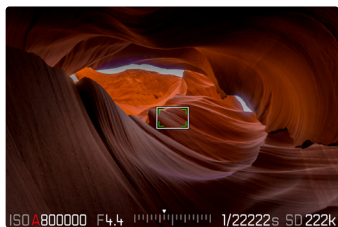
- メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- **設定**を選択する。
- **フォーカスピーキング**を選択する。
- サブメニューで**設定**を選択する。
- **MF時のみ**を選択する。

AF認識方式

トラッキング被写体検出モードがオンの場合

AFモードAF認識方式で被写体認識（人または動物）に設定されている場合、検出された被写体に（内容に合わせたサイズで）フレームが表示されます。

カメラが被写体（人または動物）を検出すると、追尾が開始されフレームが表示されます。被写体が検出されないまま、シャッターボタンを半押ししても追尾されません。



ピントが合っている場合はフレームの角が緑色で表示されます。検出フレーム自体は白色のままです。色分けにより希望する被写体が検出されピントが合っているか素早く確認することができます。

トラッキング被写体検出モードがオフの場合

AFモードが人物認識もしくは動物認識に設定されていない場合に被写体にピントが合うと、AFフレームと内側の角の両方が緑色で表示されます。

